

2017/3/29

(日々雑感 65) 修正版



昨日、あるお方と話をしました。人生と起業の大先輩です。

「事業の話聞かせてくれ」とおっしゃるので、創業趣意書等の資料をお持ちしてざっと説明をさせていただいた後で、

「どなたも何もおっしゃってくださらないので、何がいいのか悪いのかさっぱり分からなくなっております。お知恵を拝借できれば、誠に有り難いのですが」

という、大先輩は、お渡しした資料をほんのちょっとチラ見しただけで、すぐさまそれを脇に押しやると、一呼吸置いて

「わたしにはさっぱり分からん。あんたがサイトと言わず書面と言わず、書いたり言ったりすることは、学問するならええが、商売には全く向けへん。難しすぎて。これじゃあ、みんな何か言いたくても言えへんわ。だから誰も何も言わんのや。言わんのじゃなくて、言えんのや」

一刀両断でした。ズバリ。バツサリ。首の皮一枚残さず。

そうして

「こんなんじゃ人は寄って来いへんわ。サイトも理屈ばかりじゃ、誰も見もせんがね。やめなはれ、そんなん。商売しなはれ。物を売んなはれ。サイトには商品を載せなはれ。まず、日銭を稼いで、夢はそれから追いなはれ」

あっけにとられました。

そして、目が覚めました。暖気で倦んだ身体を冷気に当てたときのように、スッキリして身が締まる思いもしました。

大先輩の歯に衣を着せぬ「率直さ」に心底、頭が下がりました。有り難くて有り難くて、本

当に嬉しくなりました。

全く以て予想だにしない、希有なる一日でありました

神さま、仏さま、大先輩さま。

ここに来るために、お伊勢様、松尾観音寺の龍神様は僕に正月以来、苦勞のてんこ盛りをお
与えになっていたのかもしれないなあ、と思いました。

そんなわけで、昨年末、FB でそれを紹介してくれた友人にも、大先輩をご紹介いただいた
パートナーさんにも、とても感謝している次第であります。

やはりひとさまというものは、有り難いものなのだと、改めて痛感した一日でございました。